

# 東北地方 1か月予報

(10月8日から11月7日までの天候見通し)

平成17年10月7日  
仙台管区気象台発表

## <予想される向こう1か月の天候>

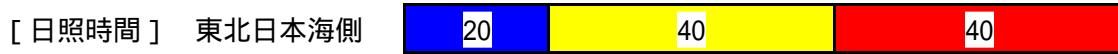
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年に比べ晴れの日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は高い、降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で平年並が多い、日照時間は東北日本海側で平年並が多い、東北太平洋側で平年並でしょう。

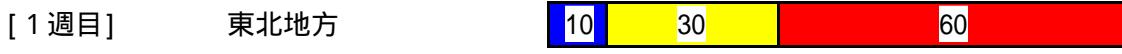
週別の気温は、1週目は高い、2週目は高い、3~4週目は平年並が高いでしょう。

## <向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

## <気温経過の各階級の確率(%)>



■ 低い ■ 平年並 ■ 高い

## <予報の対象期間>

1か月 : 10月 8日(土) ~ 11月 7日(月)

1週目 : 10月 8日(土) ~ 10月 14日(金)

2週目 : 10月 15日(土) ~ 10月 21日(金)

3~4週目 : 10月 22日(土) ~ 11月 4日(金)

## <次回発表予定等>

1か月予報: 毎週金曜日 14時30分 次回は10月14日

3か月予報: 10月25日(火) 14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温( )	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温( )		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	12.4	132.8	149.1	14.6	13.3	11.4
新庄	10.8	164.4	97.9	13.4	11.8	9.7
若松	11.7	72.3	117.2	14.3	12.7	10.4
深浦	12.0	159.7	123.8	14.2	12.9	11.0
青森	11.2	114.1	143.0	13.5	12.1	10.1
むつ	10.8	112.4	153.7	13.1	11.8	9.8
八戸	11.3	76.4	162.9	13.6	12.3	10.2
秋田	12.2	163.3	136.9	14.5	13.1	11.1
盛岡	10.3	99.0	145.9	12.8	11.3	9.2
宮古	11.8	100.2	158.1	14.0	12.7	10.8
酒田	13.3	181.6	132.7	15.6	14.3	12.3
山形	11.7	75.2	129.4	14.2	12.7	10.6
仙台	13.5	90.0	155.0	15.7	14.4	12.4
石巻	12.8	95.7	162.0	15.1	13.8	11.8
福島	13.4	85.7	143.5	15.7	14.3	12.3
白河	11.9	95.3	150.0	14.1	12.7	10.8
小名浜	14.9	134.4	161.6	16.9	15.7	13.9

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差( )	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.6~+0.4	83~111	96~105
東北日本海側	-0.6~+0.4	90~107	95~104
東北太平洋側	-0.5~+0.5	67~120	96~106

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.7~+0.6	-0.7~+0.5	-0.6~+0.6
東北日本海側	-0.7~+0.6	-0.8~+0.6	-0.7~+0.6
東北太平洋側	-0.7~+0.6	-0.7~+0.5	-0.6~+0.6

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。

階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるよう決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

# 東北地方 1か月予報解説資料

平成17年10月7日 仙台管区気象台

## 1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(10月8日~11月7日):

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年に比べ晴れの日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

平均気温は高いでしょう。

1週目(10月8日~10月14日):

明日(8日)は低気圧や前線の影響で雨が降りますが、その後は高気圧に覆われて晴れる日が多いでしょう。期間の終わりは気圧の谷の影響で曇る見込みです。

平均気温は高いでしょう。

2週目(10月15日~10月21日):

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年に比べ晴れの日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

平均気温は高いでしょう。

3~4週目(10月22日~11月4日):

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年に比べ晴れの日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

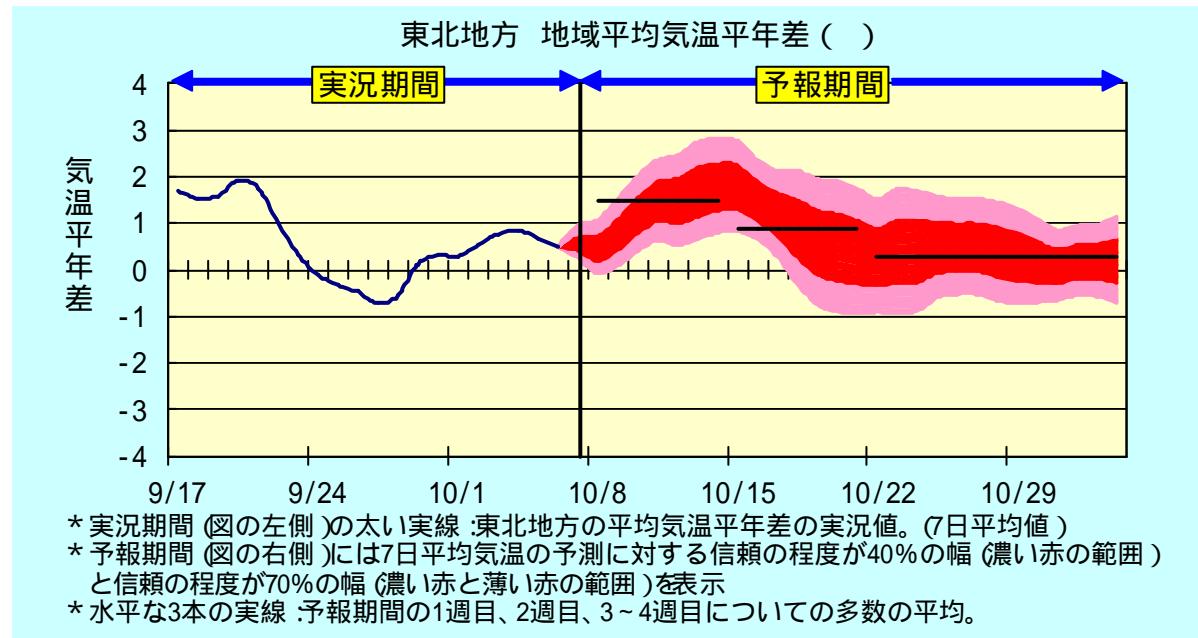
## 平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	13.0日	3.2日	3.6日	6.2日
東北太平洋側	16.5日	3.6日	4.2日	8.7日

## 2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目、2週目、3~4週目は「高い」、3~4週目は「平年並」と予測している。予報はその他の資料から3~4週目を「平年並」か「高い」とする。

なお、数値予報の信頼度は小さい。

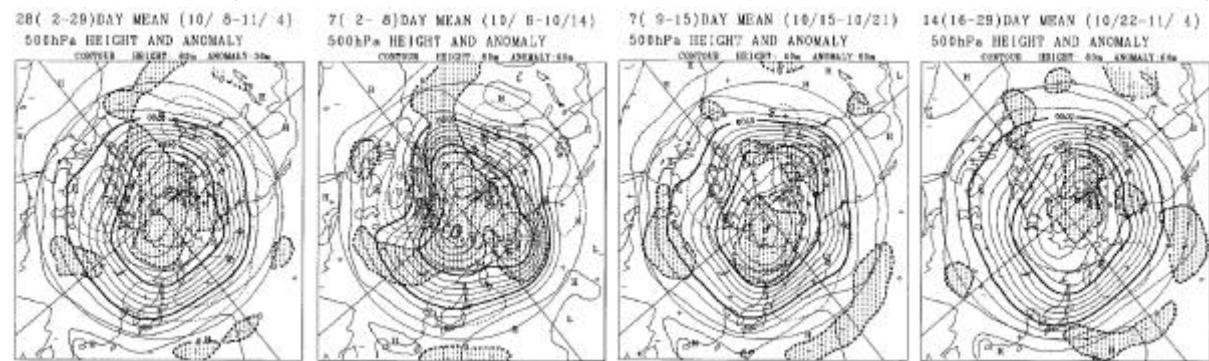


### 3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

#### 500hPa 高度と偏差：

月平均では、日本付近は日付変更線付近に中心を持つ正偏差に広く覆われる。北日本ほど正偏差が大きい。南の亜熱帯高気圧も正偏差で、西に張り出す。

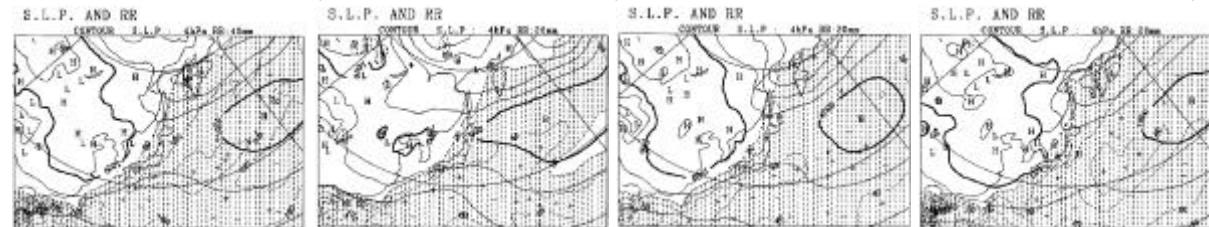
1週目は、日本付近は正偏差に覆われるが、バイカル湖以西と高緯度は負偏差。2週目は、極からオホーツク海北部まで負偏差となるが、日本付近は北太平洋に中心を持つ正偏差に覆われる。西谷が比較的明瞭。3~4週目は、極東域は広く正偏差だが、日本の南東海上に負偏差が広がる。



#### 地上気圧と降水量：

月平均では、日本付近は東西に伸びる高圧帯に覆われるが、系全体が北偏している。日本の南にまとまった降水域。

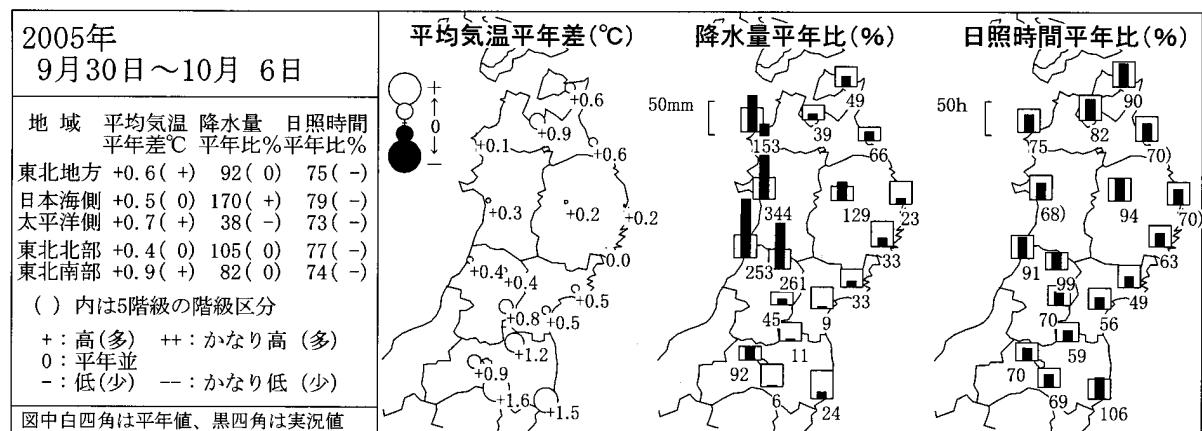
1週目は、日本付近は東西に広く高圧帯に覆われ、天気は周期的に変わる。2週目は、大陸や日付変更線付近の高気圧は平年より強く、日本付近は東西に伸びる高圧帯に覆われるが、系全体が北偏している。3~4週目は、平年と同様に大陸の高気圧が西日本に張り出し、日本付近は東西に伸びる高圧帯に覆われる。系全体が若干北偏傾向。日本の南東沖にまとまった降水域が見られる。



### 4. 最近1週間（9月30日～10月6日）の天候の経過

この期間、30日は高気圧の圏内で晴れたが、1~2日にかけてはサハリン付近の低気圧から南西に伸びる前線が日本を通過して東海上に進んだため東北日本海側を中心に雨となり、秋田では1日に100mmを超える大雨となった。その後、3日には大陸の高気圧が日本付近に進んできたため晴れたが、4日には本州の南岸に停滞した前線の影響で東北日本海側を中心に雨となった。5~6日は東北地方は移動性高気圧に覆われて晴れた。

平均気温は東北北部で平年並、東北南部で高い。降水量は東北日本海側で多く、東北太平洋側で少ない。日照時間は東北地方で少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）